

老年看護学方法論Ⅱ	2年・後期	1単位	講師 星野千春
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210712

1. 授業のねらい・概要

老年期は、加齢による諸機能の変化に伴い様々な健康障害が生じる。本講義では、老年期における特徴的な健康障害、疾患や治療の看護および終末期の看護を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 老年期の特徴的な疾患を説明できる。
2. 諸機能における健康障害の特徴と看護を説明できる。
3. 治療を受ける高齢者の看護が理解できる。
4. 認知機能を障害した人の看護を理解できる。
5. 高齢者の強み生かした看護過程を展開することができる。
6. 終末期の高齢者の特徴と看護を理解できる。

3. 授業の進め方

老年看護学概論および老年看護学方法論Ⅰの講義を踏まえて、老年期に特徴的な疾患や障害の看護について発展的に学習する。また、事例を通して高齢者の健康上の課題をアセスメント、個別的看護計画を立案する。

4. 授業計画（演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	骨・関節・運動器疾患のある高齢者の看護	講義	予習：1 テキスト第1章5－2「骨粗鬆症」、5－3「骨折」、5－4「廃用症候群」の部分を事前に読む。 復習：「骨折のある高齢者の看護」に関する国家試験問題を2問提示し、正答と解説をレポートにまとめる。 ＊次回の講義の冒頭で、解説を発表する。	星野千春
2	脳血管疾患のある高齢者の看護	講義	予習：テキスト第1章6－4「脳卒中」の部分を事前に読む。 復習：「脳血管疾患（脳出血・脳梗塞）のある高齢者の看護」に関する国家試験問題を2問提示し、正答と解説をレポートにまとめる。 ＊次回の講義の冒頭で、解説を発表する。	星野千春
3	パーキンソン病のある高齢者の看護	講義	予習：テキスト第1章7－1「パーキンソン病」の部分を事前に読む。 復習：「パーキンソン病のある高齢者の看護に関する国家試験問題を2問提示し、正答と解説をレポートにまとめる。 ＊次回の講義の冒頭で、解説を発表する。	星野千春
4	呼吸器疾患のある高齢者の看護	講義	予習：テキスト第1章6－1「肺炎」、6－2「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」の部分を事前に読む。 復習：「呼吸器疾患のある高齢者の看護に関する国家試験問題を2問提示し、正答と解説をレポートにまとめる。 ＊次回の講義の冒頭で、解説を発表する。	星野千春
5	治療を受ける高齢者の看護（薬物）	講義	予習：テキスト第3章1薬物療法、1－1「加齢による生理学的変化」、1－2「薬物療法による有害反応」、1－3「服薬行動・服薬管理」の部分を事前に読む。 復習：「薬物療法を受ける高齢者の看護に関する国家試験問題を2問提示し、正答と解説をレポートにまとめる。 ＊次回の講義の冒頭で、解説を発表する。	星野千春
6	治療を受ける高齢者の看護	講義	予習：テキスト第3章3リハビリテーション、3－1	星野千春

	(リハ)		「リハビリテーションの対象者とは」、3-2「加齢とリハビリテーション」、3-3「リハビリテーション開始前の注意」、3-4「経過別リハビリテーションの特徴」の部分を事前に読む。 復習：「リハビリテーションを受ける高齢者の看護に関する国家試験問題を2問提示し、正答と解説をレポートにまとめる。 * 次回の講義の冒頭で、解説を発表する。	
7	認知症高齢者の看護（認知症の基礎）	講義	予習：テキスト第2章1 認知症、1-1「認知症の病態と要因」、1-2「認知症の症状の理解とケア」、1-3「認知機能の評価方法」、1-4「認知症の予防と治療」1-5「認知症高齢者とのコミュニケーションの基本」の部分を事前に読む。 復習：「認知症高齢者の看護に関する国家試験問題を2問提示し、正答と解説をレポートにまとめる。 * 次回の講義の冒頭で、解説を発表する。	星野千春
8	認知症高齢者の看護（日常生活変化と家族への支援）	講義	予習：テキスト第2章1 認知症、1-6「急性期医療における認知症高齢者へのアプローチ」、1-7「認知症の非薬物療法」、1-8「認知症高齢者への支援とサポートシステム」、1-9「認知症の高齢者の人権と権利擁護」1-10「認知症高齢者の終末期ケア」の部分を事前に読む。 復習：「認知症高齢者の看護に関する国家試験問題を2問提示し、正答と解説をレポートにまとめる。 * 次回の講義の冒頭で、解説を発表する。	星野千春
9	終末期における看護	講義	予習：テキスト第4章1 高齢者の死と医療、1-1「高齢者と死」、1-2「高齢者の終末期」、1-3「尊厳死と終末期医療」、第4章2 終末期看護の実践、2-1「身体的アセスメントと看護」、2-2「精神的苦痛や不安・混乱に対する看護」の部分を事前に読む。 復習：終末期における看護に関する国家試験問題を2問提示し、正答と解説をレポートにまとめる。 * 次回の講義の冒頭で、解説を発表する。	星野千春
10	高齢者を介護する家族の看護	講義	予習：テキスト第4章3 看取りを終えた家族への看護、3-1「家族の心理と看護」、3-2「看取りを終えた家族へのグリーフケア」、3-3「家族の再出発を支える」、4章4「看取りを終えたスタッフのケア」の部分を事前に読む。 復習：高齢者介護する家族に関する国家試験問題を2問提示し、正答と解説をレポートにまとめる。 * 次回の講義の冒頭で、解説を発表する。	星野千春
11	看護過程（情報収集・アセスメント）	講義	予習：ゴードンの機能的パターン 11 項目の情報収集の視点、看護診断ハンドブックによる問題抽出までの考え方について事前に学習する。 復習：事例展開を行い、レポートとして提出する。	星野千春
12	看護過程（看護の焦点と全体像）	講義	予習：病態関連図、患者の全体像について、基礎看護学実習の記録を振り返る。 復習：事例展開を行い、レポートとして提出する。	星野千春
13	看護過程（看護計画の立案と評価）	講義	予習：大腿部頸部骨折の患者の事例の課題を事前に調べ、レポートにまとめる。 復習：事例展開を行い、レポートとして提出する。	星野千春
14	高齢者疑似体験/喪失体験	講義	予習：高齢者の身体・精神・社会的側面の「老化」についてテキストを読む。	星野千春

			復習：体験を通しての学びをレポートにまとめ提出する。	
15	高齢者疑似体験/喪失体験 まとめ	講義	予習：「喪失体験とは」について調べる。 復習：「喪失体験」についての語りから学びをレポートにまとめ提出する。	星野千春

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）90%，授業態度（予習・復習の姿勢）10%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 老年看護学①
ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 老年看護学②
山田律子／井出訓編集：生活機能から見た老年看護過程，医学書院
その他，必要に応じて資料を配布する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低1時間の予習及び授業内容について1時間以上の復習を行うこと。老年看護学概論および老年看護学方法論Ⅰの学習した内容と関連させながら主体的に参加してほしい。

8. 受講上の留意事項

シラバス該当範囲の知識に関して予習して臨むこと。
老年看護学実習の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合は進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。